

近年の八子直子の年間に発表される展覧会数は群を抜いて多い。その発表形態は会員である全道展をはじめ、個展、少人数でのグループ展、そして海外作家を交えての企画展など多岐にわたる。またどの展覧会を見ても作品の質的なレベルは高い。それらに出品される作品に一貫して登場するのが、娘の肖像や娘と過ごした時代の痕跡である。今や八子のアイコンのようにになっている画面いっぱいに描かれる娘の顔や子育て時代に使ったものたち、あるいはその時代を想起させるオブジェなどは、画面に貼り付けられたり、床に並べられたり、更に天井からつり下げられたりとダイナミックな表現となっている。作品を見るものも八子のその時代を共有することになる。

ただ最近作では、子どもの顔とはっきりと認識されていたものが、淡い霧の中に溶け込んだような表現となり、その画面からは娘といった固有性が後退し、より普遍性が獲得されてきたように思われる。そしてそのことが八子の作品をさらに魅力的なものにしている。

これらの近作を拝見し、今後作品がどの様に変化していくのかとても楽しみにしている。

國松 明日香



八子 直子  
Yako Naoko

【略歴】

1991年 恵庭市出身/札幌市在住  
北海道教育大学札幌校特別課程美術工芸卒業

【主な受賞歴】

1985年 学生全道展 北海道教育長賞  
1990年 全道展 初入選、'91佳作賞、'95道新賞、'96奨励賞、  
'97新会友、'04新会員  
1994年 古瀬キヨ記念北海道女流選抜展 奨励賞、  
'98古瀬キヨ記念大賞

【主な活動歴】

<個展>

2005年 八子直子個展 札幌時計台ギャラリー(札幌)  
2009年 八子直子展 アートホール東洲館、うなががめーゆ美術館  
(深川)  
2014年 八子直子展 さいとうギャラリー(札幌)  
2015年 八子直子展 アートホール東洲館(深川)  
2016年 八子直子展 茶廊法邑(札幌)  
2019年 八子直子展「けしき」 ギャラリーミヤシタ(札幌)

<近年のグループ展>

2018年 八子直子 鴻上宏子 會田千夏3人展  
ギャラリーエッセ(札幌)

JRタワー・アートブラネッツ・グランプリ2018

JRタワー・プラニスホール(札幌)  
中日国際交流展 黒竜江省美術館(ハルビン)  
2+2北海道・光州美術交流展 ギャラリーレタラ(札幌)  
全道展 札幌市民ギャラリー(札幌)  
つながろう展('18、'17) 地下歩行空間(札幌)  
北海道・黒龍江省国際交流美術展  
北翔大学札幌岡山キャンパスギャラリー(札幌)  
谷口明志 長谷川裕泰 八子直子3人展  
茶廊法邑(札幌)

2019年

<その他展覧会>

2001年 HIGH TIDE-ラディカルな意思の現れ  
北海道立近代美術館(札幌)  
2006年 A☆MUSE☆LAND 2006 スイート・メモリーズ  
北海道立近代美術館(札幌)  
2007年 絵画の場合 札幌アリアンス・フランセーズ、ポルトギャラリー、  
CAI(札幌)  
2009年 水脈の肖像09 日本と韓国、二つの今日  
北海道立近代美術館(札幌)  
2011年 札幌美術展「Living Art -日常-」  
札幌芸術の森美術館(札幌)

<パブリックコレクション>

恵庭市立図書館



泌(Soak)  
ペニヤ アクリル 長靴等  
175×92×25 2018



ベブラム  
木 和紙 硝子 アクリル等  
41×41×15 2019



くもま(左上)  
ペニヤ 鉛筆 オイル 鏡  
250×560×200 2018  
昔の声(右下)  
ペニヤ 鉛筆 オイル 硝子  
90×160×30 2018



2016個展風景  
(茶廊法邑)